

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハートおおうち		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和6年12月15日		～ 令和6年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状態に応じた小集団での支援をしている	利用者一人ひとり、利用時間や部屋の環境設定などを考え、年齢や発達段階に応じた支援を行っています。	さらに充実を図るために、子ども一人ひとりの発達や行動をアセスメントする力を高めるケース検討や研修を実施していきます。また、子どもが抱えている課題に応じた活動プログラムを提供していきます。
2	支援内容や一日の様子を連絡帳と共に写真を送ることで、より詳しくお伝えができています	子どもの表情や一緒に遊んでいるお友だちを知ってもらうことで、家庭での会話が増えたり、子供たちが家で話しやすいようにしています。	これからもいろんな形で情報を発信していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が少ない	開所間もないため、地域にあまり知られていません。	地域の中で交流できる施設があるかなど早急に調べていこうと思います。また、地域のイベントには積極的に参加していく予定です。
2	保護者同士の交流機会が少ない	きょうだいを含む家族同士の交流を求める声と、そういったものには参加したくないので現状のままでよいとの意見が分かれています。今後、ご家族のニーズに合わせた柔軟な対応が求められています。保護者会やイベントを行うには十分な駐車場が確保できていないのも要因と考えます。	ご家族が参加しやすい環境を作っていく予定です。まずは、駐車場の確保を検討中です。
3			

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハートおおうち		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和6年12月15日		～ 令和6年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動が充実している	日々の活動だけでなく、季節の行事や近隣のチャイルドハートとの合同イベントの開催など、子どもたちがワクワクするような活動を実施しています。	今後も季節の行事やイベント等は継続していきます。また、日々の活動については、利用者の成長発達に合わせたものを考えて、子どもを飽きさせないプログラムを提供していきます。
2	利用者との関りが多く、一緒に遊ぶ時間や話を聞く時間を大切にし、支援に繋げている	利用者のしたいこと、興味のあることを可能な限り叶えていくようにしています。こどもミーティングでもいろんなことを利用者から発信してもらって活動に繋げています。	今後も利用者との話をする時間を大切にしていこうと思います。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規利用児の受け入れが難しい	有り難いことに多くの見学や新規申し込みの連絡をいただくが、定員いっぱいのため、お断りすることが多い現状です。また、送迎の関係上限定した地域のみのお受けとなってしまっています。	新規利用希望者の方には、見学後待機登録をしてもらい、空き状況に応じて順番にご案内をしていきたいと思っています。また、保護者送迎のお願いし対応することも検討しています。
2	保護者に向けた研修等の開催	保護者の方に向けた研修等をまだ行ったことがありません。	今後は保護者の意向を聞きながら、分野ごとに分けて研修を企画したり、発達や支援について個別に相談ができる場を作っていきたいと思っています。
3	他事業所との関りが少ない	新しい事業所のため、学校・幼稚園等の関係機関との連携は行っていますが、他事業所との繋がりが少なく、支援の共有がほぼできていない状況です。	今後は、他事業所との繋がりを増やしていき、話を聞く時間をつくり、支援の共有をしていきたいと思っています。

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドハートおおうち		公表日		令和7年2月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	指定の基準以上の広さを確保しています。	長期休暇などは、必要に応じて、室内活動と屋外活動にグループ分けをするなどの対応をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	必要なことに気付いた時点で、子どもたちが過ごしやすい環境に整えていくよう心掛けています。	玄関に段差があるので、今後改善する必要があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	整理整頓を心掛け、必要のないものはプレイルームには置かないようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	必要に応じて個別の部屋の使用が可能です。	今後、いつでも使用できるカムダウンスペースを設けます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	定例のミーティングで課題にあげ共有しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	4		開所間もないので実施できていません。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	ミーティング以外にも、個別で面談を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		現在、外部評価は行っていませんが、今後実施の必要性を検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	社内研修が充実しています。	外部の研修にも積極的に参加し、支援の質を高めるよう努めていきたいと思えます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	職員間で話し合い作成しています。また、作成したものはホームページで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画書を作成していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	アセスメントを行った上で、利用者本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画書を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	活動プログラムは職員全員でアイデアを出し、作り上げています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	多様なプログラムを用意し、固定化しないようにしています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	必ず活動ミーティングを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の支援について個別記録を徹底しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		今後、関係機関との連携を整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	幼稚園や保育園など国籍園との併行通園や移行に向けて、利用時間や曜日の調整と支援を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4		今後、必要に応じて行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4		今後、児童発達支援センターとも、密に連携を図っていききたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		今後、地域の中で交流できる施設があるかなどを確認し、様々な機関や施設とのつながりを作っていけるよう努めます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		保護者が話しやすい相談体制を構築するよう努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		保護者の意向を確認したうえで、家族支援プログラムの実施を検討します。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明をしています。また、不明な点は随時説明するようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		保護者の意向を確認したうえで、保護者会の開催、家族で参加できるイベント等を検討していきます。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		開所間もないので、これから必要に応じて検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各マニュアルは策定しており、定期的に研修を行っています。	いつでもマニュアルを閲覧できるよう、事業所玄関に配置をし、周知していくことを検討しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	緊急時に適切に対応できるよう、定期的に利用者の既往歴や服薬についての情報共有を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		今後必要があった場合は対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		安全計画に基づいて行われていることへの周知が不足しているため、より分かりやすい周知方法を考えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	危険な事例があった場合、報告書に記載しミーティングを通して職員間で共有し対策をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	職員が社内研修・外部研修に参加できるように配慮しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

公表日 2025年 2月 15日

事業所名	チャイルドハートおおうち				
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	4	0	指定の基準以上の広さを確保しています。また、必要に応じて子どもが利用するスペースを分けています。	
	2	4	0		必要に応じて職員を増やし調整していく予定です。
	3	4	0	室内はバリアフリーです。	玄関のみ段差があるため、今後改善していく必要があります。
	4	4	0	毎日の掃除、アルコール消毒を徹底しています。また、子どもたちの活動に合わせてスペースを分けています。	
	5	4	0	必要に応じて個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	今後は、いつでも使用できるカムダウンスペースを設ける予定です。
業務改善	6	4	0	業務を行う上で、気になる点が出てきた際には、その都度職員間で話し合いを行っています。	
	7	0	4		開所間もないので実施できていません。
	8	4	0	ミーティング以外にも、個別で面談を行っています。	
	9	0	4		現在、第三者による外部評価は行っていません。今後、必要性を検討していきます。
	10	4	0	社内研修が充実しています。	外部の研修にも積極的に参加し、支援の質を高めるよう努めていきたいと思っています。
適切な支援の提供	11	4	0	職員間で話し合い作成をしています。また作成したものはホームページで公表しています。	
	12	4	0		計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成していきます。
	13	4	0	子どもたちの日々の様子を職員間で共有し課題に応じた支援方法を検討しています。	
	14	4	0	計画は職員に共有されており、計画に沿った活動を提供しています。	
	15	4	0	保護者様には連絡帳等で、職員間では支援記録等で常に状況が確認できるようにしています。	
	16	4	0	アセスメントを行った上で、利用者本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。	
	17	4	0	活動プログラムは職員全員でアイデアを出し作り上げています。	
	18	4	0	子どもの特性や状況に応じたプログラムを用意し、固定化しないようにしています。	
	19	4	0	子どもたちの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、支援計画に反映させています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	必ず活動ミーティングを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	保護者からの連絡事項やその日の活動内容について職員間で話す時間を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	利用者一人ひとりの支援記録を毎日作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		職員全員で話し合い、利用者一人ひとりに合わせた支援目標を検討していきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	日々の療育プログラムに加え、子どもたちのやりたいことを聞き、それに合わせた活動を取り入れています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		今後、関係機関との連携体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	行事予定や下校時刻などは主に保護者から情報をいただいています。必要に応じて学校とも確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4		今後必要があれば、相談支援員を通じて情報収集を行っていききたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4		現時点で事例はないのですが、今後対象者があった場合は情報を共有していきたいと思えます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		今後必要があれば検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	児童館に行った際には、他の子どもたちとも一緒に遊んでいます。	交流頻度については、今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	可能な限り参加をしていきたいと思えます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		保護者の意向を確認したうえで、家族支援プログラムの実施を検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明をしています。また、不明な点は随時説明をするようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	契約時に本人や保護者のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、新たなニーズがあれば、その都度検討し支援を考えています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	面談時に支援内容を説明し、保護者から同意を得て署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	必要に応じて面談だけでなく、電話やメール等でも相談を受け付けており、支援方法などを提案しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		保護者の意向を確認したうえで、検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	契約時に苦情に関する相談窓口を説明し、適切な対応ができるよう努めています。	

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		今後、保護者の意向を確認したうえで、検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアルは策定しており、定期的に研修も行っています。	保護者への周知が不足しているので、マニュアル設置場所等を検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施しています。	保護者への周知が不足しているので、お便り等で伝えていきたいと思っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	保護者から状況を聞き、職員間で情報共有をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		現在、対象となる利用者はいませんが、今後対象者があった場合は対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約時、対応についての説明を行っています。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事案が起こった際は、ヒヤリハット報告書を作成し、原因と予防策を職員間で話し合います。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	社内研修、外部研修に職員が参加しやすいよう配慮しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	契約時に保護者に説明をしています。		